

令和3年度 調布市立滝坂小学校 学校経営方針

調布市立滝坂小学校
校長 小林 美也子

「笑顔があふれ 夢を育む 滝坂小学校」を目指して

1 本校の教育目標

- ◎ よく考え 進んで学習
(すすんで学習し、自分を見つめ考えながら課題に取り組む子供「問題解決力」)
- 強いからだ やりぬく心
(健康な体をつくり、粘り強い心をもって行動する子供「実践力」)
- 人に親切 仲良く協力
(優しい心を持ち、仲間と協力できる子供「人間関係形成力」)

2 目指す学校像【「つくる」「つながる」「つたえる」学校】

- ◇ 「つくる」…子供たちが変化する社会を主体的に生きるために必要な資質・能力を育成する教育活動を創造する。
- ◇ 「つながる」…子供の学びと成長のために、教職員、子供、保護者、地域がつながる。
- ◇ 「つたえる」…透明性の高い学校を目指し、教育活動の取組を積極的に保護者、地域に発信する。

3 学校の教育目標を達成するための基本方針

- (1) 「よく考え 進んで学習」する児童を育成するために
 - ・各教科における言語活動の充実
 - ・他者と協働して「習得」「探求」「活用」する過程における問題解決学習の推進
 - ・一人一台タブレット端末の効果的な活用による情報活用能力の育成
- (2) 「強いからだ やりぬく心」をもつ児童を育成するために
 - ・感染症予防対応の実践
 - ・健やかな体の育成、継続する力、諦めずに取り組む力の醸成
- (3) 「人に親切 仲良く協力」する児童を育成するために
 - ・人権教育を基盤とした全教育活動の推進
 - ・道徳教育の推進による豊かな心の育成
- (4) 教育目標達成に向けたその他の事項
 - ・児童一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進
 - ・社会に開かれた教育課程を実現するために、地域文化や人材を活用した学習の実施

4 指導の重点

学習指導

- ・校内研究（国語科）を中心に、授業改善に取り組む。
- ・算数科では、「数学的な見方・考え方」を明確にさせ、授業改善に取り組む。
- ・社会科では、国語科等他教科と関連させることで、多角的に考える力を育成する。
- ・オリンピック・パラリンピック教育に関連付けて、スポーツ志向の児童を育成する。
- ・「体力アップマラソン」や「大縄大会」の取組を工夫する。
- ・一人一台タブレット端末や ICT 機器の計画的な活用により、情報を活用・表現する力を育む。
- ・外国語では、言語活動を AET や視聴覚機器の活用で楽しく学び、対話項目の定着を図る。

特別活動

- ・学級活動、児童会活動、学校行事での体験的な活動を重視する。
- ・学級会における話し合い活動を充実させる。
- ・委員会、クラブ活動等、コロナ禍における活動の在り方を工夫する。

特色ある教育活動

- ・総合的な学習の時間に、体験的な環境教育の学習を行う。
- ・地域学校協働本部や PTA 活動、地域団体等と連携して日常的・継続的に運動に親しむ機会を設ける。

特別支援教育

- ・特別支援教育への理解を深め、授業の UD 化を推進する。
- ・特別支援コーディネーターを中心に全教職員で、支援の必要な児童に組織的に対応する。
- ・わかき学級と通常級との交流や副籍交流を計画的に行う。

生活指導

- ・いじめ防止委員会を中心に組織的対応を行い、「いじめ認知、解消 100%」を目指す。
- ・「は・あ・と」（話を聞く・挨拶をする・友達と仲良くする）を合言葉に全教職員の共通理解のもと、継続した指導を行う。
- ・不登校、集団不適応、問題行動については、組織的な取組みにより迅速的確に対応する。
- ・食物アレルギー対応マニュアルに基づき、緊急時に適切な対応ができるように研修する。

進路指導

- ・自己肯定感を高め、個性や能力を生かして自己実現を目指す児童を育成する。
- ・キャリアパスポートを作成することで、児童が自分の未来に対して希望を抱けるようにする。